

令和3年9月3日

保護者 様

柏市立土中学校
校長 岩永 朗子

令和3年度柏市学力・学習状況調査結果について

秋暑の候、保護者の皆様には日頃より教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、標記調査結果は1学期の通知表と合わせて配布いたしました。土中全体の分析を行いましたので以下のとおりお知らせいたします。

今後は、学習指導や生活指導の工夫改善を図るとともに、ご家庭との一層の連携により、子ども達の学力向上に努めてまいります。

記

1 調査内容等

(1) 調査実施期日 令和3年4月14日(水)実施

(2) 対象学年及び調査概要

中学校1年：国語，数学，英語，理科，社会及び生活・学習意識調査

中学校2年：国語，数学，英語，理科，社会及び生活・学習意識調査

中学校3年：国語，数学，英語，理科，社会及び生活・学習意識調査

(3) 調査内容

教科に関しては昨年度の学習内容です。(1年生の場合は、小学校6年生の学習内容となっています)基礎的な内容及び活用的な内容を含む問題で構成されています。生活・学習意識調査は、学習意欲や学習方法、生活等のアンケート調査です。

2 各教科の調査結果について

(1) 国語

①結果の概要について

教科全体の平均正答率は、2・3年生は全国平均と同程度となっています。1年生は、全国平均を下回っている状況です。

②基礎的な内容について

どの学年も、漢字の書き取り問題が比較的よくできています。また説明文の読み取り問題も良くできています。また、聞き取り問題では1、2年生が標準値を下回っています。普段から授業や、相手の話をしっかりと聞く習慣をつけることを目指してほしいと思います。

③活用的な内容について

活用的な問題に対し全国平均を下回っており、苦手意識があるようです。活用的な問題は、自らの考えを表現し、基礎力を応用させて解く問題です。活用力の向上のために、普段から自分で考える力、発信する力を大切にしながら授業に取り組み、ノートも黒板を写すだけでなく、自分なりにまとめるなどの工夫が大切です。

(2) 数学の調査結果

①結果の概要について

教科全体の平均正答率は、全国平均と同程度となっています。どの学年も、「資料の活用」「データの活用」の領域で高い値となっています。

②基礎的な内容について

数量関係に関する基本事項の定着に課題があります。比の計算や反比例の関係を式に表すことができるようになるるとよいです。また、小学校で習う、小数、分数の計算や百分率の考え方は、中学校で難易度の高い問題の中で使うことが多いです。前年度までの学習の習得が大切です。

③活用的な内容について

どの学年も記述式の問題の正答率が低いです。特に文章を読んで、式を組み立てたり、説明したりする問題に苦手意識が見られます。この問題形式で力をつけるには、ある程度の慣れが必要であるため、粘り強く取り組む必要があります。

(3) 英語の調査結果

①結果の概要について

すべての学年において、全国平均を上回っています。授業に積極的に取り組み、こつこつと努力を重ねている成果が見えていると思います。

②基礎的な内容について

「読む力」をつけていくことが課題です。「読む力」は教科書を読むことで鍛えられます。まずは教科書の本文を繰り返し声に出して読むことが基本です。

③活用的な内容について

英文を作る問題については苦手意識が見られます。また無回答の生徒が問題によっては多く見られたので、すこしずつ無回答を減らしていくことが課題となっています。

(4) 理科の調査結果

①結果の概要について

どの学年も平均正答率は全国平均を上回りました。学習内容の復習に取り組んだり、積極的に授業に参加したりすることで更なる学力向上を目指してほしいと思います。

②基礎的な内容について

選択問題では答えられているようなので、用語や実験操作方法を記述できるように、書く練習をしていく必要があります。漢字や読み間違いがないように、解き直しも必ず行ってほしいと思います。

③活用的な内容について

観察・実験の技能や、科学的な思考表現における短答や記述を、丁寧に解くことができるように、普段の授業の実験方法や注意、考察をノートにしっかり書き、身につけてほしいと思います。

(5) 社会の調査結果

①結果の概要について

どの学年も平均正答率は全国平均を上回りました。1年生については、すべての領域において、全国平均を上回りました。

②基礎的な内容について

全学年ともに、基礎的な内容が定着している傾向が見られます。用語の意味や、いつ、どこで、だれが、何をしたのかという内容をおさえ、練習問題の反復など日々の取り組みが、基礎的な内容の定着につながったと思います。

③活用的な内容について

1・3年生については全国平均を上回ることができています。授業内での資料を活用した取り組みの成果が表れていると考えられます。2年生は、活用的な内容について全国平均を下回っているため、これからの授業での取り組みが重要になってきます。

3 生活・学習意識の調査結果の概要について

- (1) コンセプト（見通す力）については、学んだ結果、よく分かったこと、あまり分からなかったことを整理する「振り返り」が不足しているようです。授業や單元ごとに、学習内容を振り返り、自分の理解の状況を確認する習慣を育てていきます。
- (2) チャレンジ（挑戦する力）については、諦めずに粘り強く取り組む「粘り強さ」に課題が見られました。学校生活の中で、責任をもって活動に取り組むことを指導していきます。ご家庭でもお子様を励ましていただき、前向きに学校生活を送れるように支援をお願いします。
- (3) コミュニケーション（関わり合う力）については、誰に対しても、温かい心で接することができる「思いやり」と、話し合い活動の際に、他人の意見を最後まで聞くことができる「傾聴」の力がついています。人間関係の深まりが、学習活動の基盤となり、今後につながると思います。
- (4) コントロール（自立する力）については、課題に自ら取り組むことができる「主体性」を高めるために、毎日家庭学習ノート「土の音」に取り組んでいます。ご家庭でもノートの内容をご確認して頂き、家庭学習の習慣化に向けてご協力をお願いします。

4 学習状況をよりよくするポイントについて

(1) 生活面について

生活のリズムを整えて、十分な睡眠をとるよう心がけてください。「早寝」「早起き」をし、「朝食を必ず食べる」ことも大切です。また、清掃活動や身のまわりの整理整頓に心がけてください。そして、健康維持のためにも体を積極的に動かし、鍛えるようにしましょう。

(2) 学習面について

- ①毎日の授業を大切にし、先生や友達の話をよく聞き、集中して取り組んでください。特に毎時間の学習課題に着目し、どのような過程を経てまとめられたか、ノートを見ながらしっかり振り返り、知識を定着させることが重要です。
- ②自分の得意な教科や学習分野を見つけ、より磨きをかけ、力を伸ばす努力をしてください。また、苦手教科については、どの分野が苦手なのかをしっかりと把握することが大切です。
- ③わからない箇所はそのままにせず、友達、先生、家族に聞き、解決する勇気を持ってほしいと思います。また、自分でも解決するよう努力することも大切です。
- ④家庭学習の習慣をつけ、宿題だけでなく、「土の音」を有効活用し、自分で課題を設定して計画的に学習できる力をつけることを目標にしてほしいと思います。学年+1時間の家庭学習時間を習慣となるように、取り組んでほしいと考えています。